



## 平成27年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月11日

上場取引所 東 名

上場会社名 クロスプラス株式会社  
コード番号 3320 URL <http://www.crossplus.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 大寛

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 虫鹿 宏

TEL 052-532-2211

四半期報告書提出予定日 平成26年12月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年1月期第3四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第3四半期	53,204	△6.1	△1,682	—	△1,588	—	△1,616	—
26年1月期第3四半期	56,678	1.0	△3,309	—	△3,191	—	△2,441	—

(注) 包括利益 27年1月期第3四半期 △1,128百万円 (—%) 26年1月期第3四半期 △2,101百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第3四半期	△220.88	—
26年1月期第3四半期	△333.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第3四半期	36,824	13,339	36.2	1,822.94
26年1月期	37,202	14,614	39.3	1,997.16

(参考) 自己資本 27年1月期第3四半期 13,339百万円 26年1月期 14,614百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	20.00	—	10.00	30.00
27年1月期	—	10.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,000	△1.9	300	—	400	—	100	—	13.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年1月期3Q	7,718,800 株	26年1月期	7,718,800 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年1月期3Q	400,990 株	26年1月期	400,990 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年1月期3Q	7,317,810 株	26年1月期3Q	7,317,812 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年2月1日～平成26年10月31日）におけるわが国経済は、政府や日本銀行の各種政策の効果などから輸出関連企業を中心に収益の改善が見られ国内景気は緩やかな回復の動きが続いております。

しかし、当アパレル業界では、一部の高額商品では消費増税に伴う駆け込み需要があったものの、4月以降は消費者の節約志向が長引くなか、天候不順の影響等もあり、個人消費は依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、グループの主力である当社製造卸売事業では、為替に影響されない体質作りのもと売上より利益を重視した販売に努めてまいりました。また、立て直し中の㈱ヴェント・インターナショナルでは不採算店舗の撤退を進め収益改善に取り組んでまいりました。

製造卸売グループでは、採算性を重視した販売に努めたことで売上高は455億55百万円（前年同期比7.0%減）と減少しました。一方、収益改善のための取り組みとして、大手得意先向けへの売場提案型トータル企画のPB（プライベートブランド）やライセンスブランドの活用など付加価値を高める販売手法による販売単価の引上げにより売上総利益率の回復を図りました。生産面では、長期の計画生産の取り組みやアセアン生産と中国生産との最適化等に努めました。経費に関しても、流通経路の見直しや出荷効率アップによる物流費の引下げを中心に削減を進めました。

SPAグループでは、ミセスSPA事業は百貨店向け卸売販売の強化を進めたことで増収となりましたが、ヤングSPA事業の㈱ヴェント・インターナショナルが直営店売上の苦戦と不採算店舗の撤退を進めたことにより減収となった結果、SPAグループの売上高は、77億19百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

これらの結果、連結業績は、売上高532億4百万円（前年同期比6.1%減）、営業損益は16億82百万円の損失（前年同期は33億9百万円の営業損失）、経常損益は15億88百万円の損失（前年同期は31億91百万円の経常損失）、四半期純損益は16億16百万円の純損失（前年同期は24億41百万円の四半期純損失）となりました。

なお、当社グループは、衣料品事業の単一セグメントでありますので、セグメント別の記載はしていません。

グループ別、販売チャネル別の売上高は以下のとおりです。

区 分		金額（百万円）	前年同期比（%）	
製造卸売 グループ	量 販 店	21,404	△10.1	
	専 門 店	18,933	+1.0	
	無 店 舗	3,737	△21.3	
	そ の 他	1,480	△11.7	
	製造卸売グループ 合 計	45,555	△7.0	
SPA グループ	ヤングSPA事業	直 営 店	2,938	△7.7
		そ の 他	792	△22.9
	小 計	3,730	△11.4	
	ミセスSPA事業	直 営 店	1,977	△5.9
		そ の 他	2,011	+27.9
	小 計	3,989	+8.6	
	SPAグループ 合 計	7,719	△2.1	
グループ 合 計	53,275	△6.3		
消 去	△70	—		
合 計	53,204	△6.1		

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は368億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億77百万円の減少となりました。

流動資産は254億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円の増加となりました。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金が19億74百万円減少したものの受取手形及び売掛金が14億60百万円増加したことによります。

固定資産は113億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億62百万円の減少となりました。固定資産の減少の主な要因は、投資その他の資産が3億円減少したことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は234億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億97百万円の増加となりました。

流動負債は201億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億48百万円の増加となりました。流動負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金が37億51百万円減少したものの短期借入金が38億円増加したことによります。

固定負債は33億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億48百万円の増加となりました。固定負債の増加の主な要因は、長期借入金が4億2百万円増加したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は133億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億74百万円の減少となりました。純資産の減少の主な要因は、利益剰余金が17億62百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月期通期の業績予想につきましては、平成26年9月12日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,533	2,558
受取手形及び売掛金	13,848	15,309
電子記録債権	1,247	1,140
商品	4,721	4,893
貯蔵品	15	20
その他	1,036	1,566
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	25,399	25,484
固定資産		
有形固定資産	5,557	5,397
無形固定資産	168	166
投資その他の資産		
投資有価証券	3,895	3,956
その他	2,181	1,819
投資その他の資産合計	6,076	5,776
固定資産合計	11,802	11,340
資産合計	37,202	36,824
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,134	11,382
短期借入金	2,300	6,100
1年内返済予定の長期借入金	363	447
未払法人税等	28	23
賞与引当金	92	246
返品調整引当金	62	55
ポイント引当金	37	32
その他	1,573	1,852
流動負債合計	19,591	20,140
固定負債		
長期借入金	1,272	1,674
退職給付引当金	1,074	1,043
役員退職慰労引当金	407	431
その他	241	194
固定負債合計	2,995	3,344
負債合計	22,587	23,484

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,944	1,944
資本剰余金	2,007	2,007
利益剰余金	10,087	8,324
自己株式	△532	△532
株主資本合計	13,506	11,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	843	893
繰延ヘッジ損益	234	666
為替換算調整勘定	30	36
その他の包括利益累計額合計	1,108	1,595
純資産合計	14,614	13,339
負債純資産合計	37,202	36,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年10月31日)
売上高	56,678	53,204
売上原価	46,304	42,256
売上総利益	10,374	10,948
返品調整引当金戻入額	100	62
返品調整引当金繰入額	55	55
差引売上総利益	10,419	10,954
販売費及び一般管理費	13,729	12,637
営業損失(△)	△3,309	△1,682
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	60	67
受取家賃	52	52
その他	79	42
営業外収益合計	203	172
営業外費用		
支払利息	18	23
貸貸収入原価	42	38
その他	24	17
営業外費用合計	85	78
経常損失(△)	△3,191	△1,588
特別利益		
固定資産売却益	185	—
投資有価証券売却益	5	—
特別利益合計	191	—
特別損失		
減損損失	65	89
事業整理損	48	—
その他	3	19
特別損失合計	117	108
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,118	△1,697
法人税、住民税及び事業税	18	27
法人税等調整額	△695	△107
法人税等合計	△676	△80
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,441	△1,616
四半期純損失(△)	△2,441	△1,616



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△2,441	△1,616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	328	50
繰延ヘッジ損益	△15	431
為替換算調整勘定	26	5
その他の包括利益合計	339	487
四半期包括利益	△2,101	△1,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,101	△1,128
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。